

# バングラデシュ：調停人オンライントレーニングの実施について

国際協力部教官

黒木 宏太

## 第1 はじめに

2021年7月26日及び27日の2日間にわたり、バングラデシュと日本を結んで、調停人オンライントレーニングを実施し、60名以上が参加者した。バングラデシュにおいては、新型コロナウイルスの感染状況もあり、厳しいロックダウンが続く中での実施となったが、50の地区から、約50名の地方法律扶助官（District Legal Aid officers）・上級判事補（Senior Assistant Judges）・判事補（Assistant Judges）が参加した。

バングラデシュ政府は、時間と費用がかかる裁判に代わって、市民が様々な法的問題を解決するための代替手段の一つとして、昨今、調停の促進に力を入れている。

本研修には、日本側から、講師として、中京大学の稲葉一人先生にご参加いただくとともに、JICAガバナンス・平和構築部ガバナンスグループ法・司法チームの小松健太氏、井出ゆり氏、稲田亜梨沙氏のほか、JICAバングラデシュ事務所の渡辺広毅氏、サンジダ・ホック氏、当部の曾我学教官、尾田いずみ教官、徳井靖士事務官及び当職が参加した。また、青山若人氏に日本語・ベンガル語間の通訳をしていただいた。

本稿では、本研修の内容について、バングラデシュ側のフィードバックを中心に、その概要を紹介する。本稿の意見にわたる部分は、全て当職の私見であり、所属部局の見解ではない。

## 第2 本研修の概要

### 1 日時

2021年7月26日（月）、27日（火）

### 2 形式

Z o o mを使用したオンライン形式

### 3 スケジュール（日本時間）

[26 July 2021]

12:30-12:40 Opening remarks

12:40-15:00 Special lecture by Professor Inaba based on the feedback

15:00-16:00 Lunch

16:00-18:30 Special lecture by Professor Inaba based on the feedback

\*\*\*\*\*

[27 July 2021]

12:30-15:30 Mock Mediation

15:30-16:30 Lunch

16:30 - 18:00 Q & A

18:00 - 18:05 Closing remarks

#### 4 参加者

バングラデシュの地方法律扶助官 (District Legal Aid officers) ・ 上級判事補 (Senior Assistant Judges) ・ 判事補 (Assistant Judges) 等 合計約60名

### 第3 調停人トレーニングと模擬調停

1 参加者は、事前にビデオ教材<sup>1</sup>を使用してEラーニングをし、フィードバックを提出した上で、研修に参加した。このビデオ教材は、どの国にもある解雇事件<sup>2</sup>を題材として、Mediationのステージに応じて、効果的な調停の実現に役立つTipsを稲葉先生が解説する形で、作成されている。調停における課題設定の在り方などの内容のみならず、調停人としての心構えや立ち振る舞いなどについても解説されていて、いわば痒いところに手が届く内容となっており、調停人を担当する者にとって、大変参考になるものである。

The image shows a video lecture interface. On the left, a slide titled "Whole Picture of Facilitative Mediation" displays a flowchart of the mediation process. The process is divided into three stages: "Preparation in advance", "Interaction Stages", and "Resolution Stages". The "Interaction Stages" are further divided into "Structure" and "Gazing to Parties". The "Structure" stage includes "Specify issues", "Create options", and "Check the Social acceptability/Effectiveness/ Feasibility of resolution". The "Gazing to Parties" stage includes "Skill" (Purchase, Open-ended questions, Listen, Brainstorming) and "Ethics" (Ethics). On the right, a slide titled "Before the Mediation" lists "2. Tips for the setting of the Mediation" with four numbered points. A small video window in the bottom right corner shows a man speaking.

【稲葉先生のビデオ講義の様子】

参加者からは、日本の調停システムや、調停の方法や順序等について詳しく知ることができただけでなく、アイコンタクト、ノンバーバルコミュニケーション、感情の反映、困難な状況への対処法、調停の倫理などの心理的・生理的な問題についても詳しく学ぶことができたことなど、多くのフィードバックがあった。

また、バングラデシュの調停の問題点についても共有された。例えば、日本では、調停が成立した後の合意は判決のように強制力があるとされているが、バングラデシュでは、調停の当事者にとって、合意は法律によって強制力を持たないため、合意後の調停が成功しても、当事者同士が法律上の強制力がないことを知っているため、

<sup>1</sup> 稲葉先生の講義やビデオ教材の内容については、INABA Kazuto "ONLINE MEDIATION TRAINING" ICD NEWS (March 2021) p50 - を参照。 <https://www.moj.go.jp/content/001343989.pdf>

<sup>2</sup> 事案は次のとおり。

「O (大蔵) さん (30代後半男性 独身) は、アルバイトとしてN運送株式会社にて約10ヶ月間勤務していたが、1ヶ月前に突然解雇された。N運送の労務担当Y (吉永) 係長は、物流が減ったので配達員があまっていることを解雇の理由として説明した。Oさんとしては、まじめに勤務してきたつもりで、この仕事が気に入っていたので、突然の解雇に納得がいかず、Y係長に抗議をしたが、らちがあかない。解雇に際して、N運送からは事前の解雇予告はなく、また解雇予告手当の支払いもなかった。」

実りある調停とはみなされないことがあり、調停に関わった全員の時間と労力が無駄になってしまうという問題点があることなどが共有された。

2 模擬調停のトレーニングでは、3人一組となって、調停人と両当事者をロールプレイし、ロールプレイが終わったら、振り返りを行う。各自のフィードバックを基に、実際の調停に役立たせることが期待されている。今回はZoomのブレイクアウトルーム機能を使用して、オンラインでロールプレイをしたが、ロールプレイのイメージは、下記のとおりである。右端の調停人が、両当事者（左から二人目が申立人、右から二人目が相手方）と初めて調停の席で出会い、調停とは何かなどを説明しているところを実演している。



【稲葉先生が両当事者を前にオープニングを演じている場面（前回研修時）】

調停人役の人には、具体的に、どのようなことを心がけたか、何がうまく行って、何が難しかったか等につき、フィードバックをしていただいた。当事者役の人には、調停人役の言動や行動で良かった点に注意を払って観察していただき、フィードバックをしていただいた。下記のスライド（左）のとおり、調停人役の発言・質問で有効だと感じたこと、特に、話の内容だけでなく、調停人役のしぐさ、表情、質問の仕方なども詳しく観察していただき、メモしておいていただいた。

Protocol
<p><b>Before Starting the Role-Playing</b></p> <ol style="list-style-type: none"><li>1. Since this is only a training, there is no need to feel embarrassed or to immerse yourself in the role by getting emotionally involved. However, you also want to avoid intentionally leading the negotiation to a bad end. It's both important to sincerely play your role and not to rob other participants of the chance to learn.</li><li>2. We will review the session, because understanding what parties think is essential for a mediator. In the review, you will be asked to specifically explain what you paid attention to, what went well and what went wrong. Can you describe how you felt during the role play? After the role play, please write it down on the worksheet, before you forget.</li><li>3. Carefully go through the Fact Sheet that contains common facts and confidential facts. If anything is unclear, please ask the lecturer. Please don't disclose the Fact Sheet to your counterpart. You can use your common sense to add facts that are not written on the Fact Sheet.</li><li>4. The role-play should take about ____ minutes.</li></ol> <p>2</p>

Workshop				
<p><b>Observe the Mediation</b></p> <table border="1"><thead><tr><th>What statements and questions made by the mediator seem to be effective?</th><th>What behavior and attitude of the mediator seem to be effective?</th></tr></thead><tbody><tr><td></td><td></td></tr></tbody></table> <p>3</p>	What statements and questions made by the mediator seem to be effective?	What behavior and attitude of the mediator seem to be effective?		
What statements and questions made by the mediator seem to be effective?	What behavior and attitude of the mediator seem to be effective?			

【模擬調停に関する講義のスライド】

3 調停人トレーニング後、参加者から、調停人にとって中立であることの重要性、調停人にとって挨拶と歓迎的な雰囲気を出すことの重要性、公平性・機密保持の重要

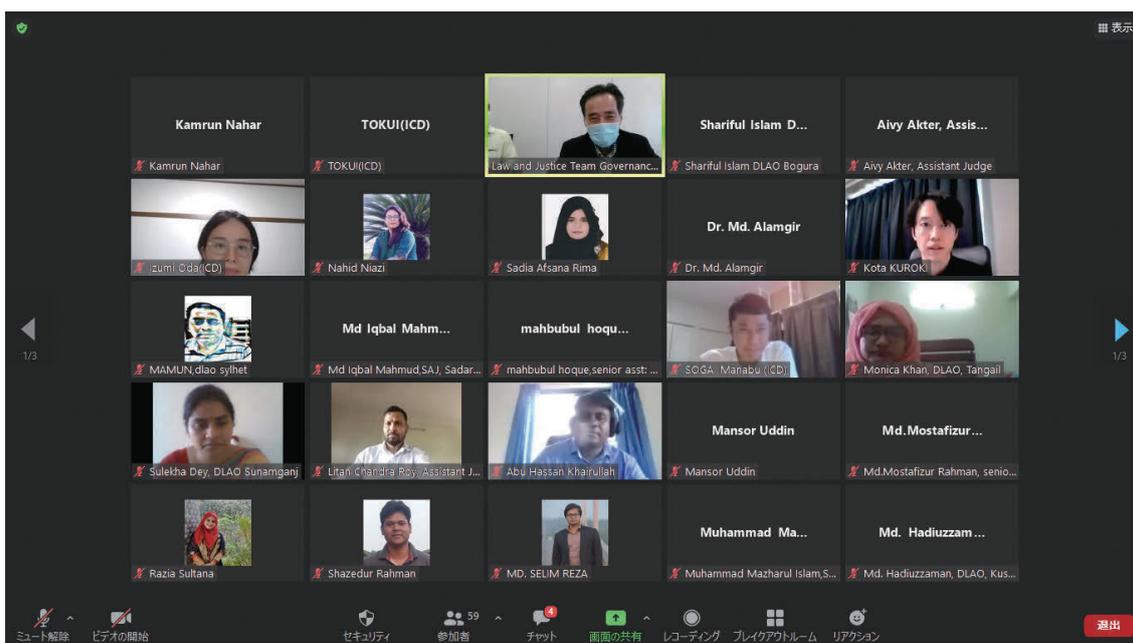
性、紛争の原因を突き止める技術等がよく理解できたなどのフィードバックがあり、全体的に、とても良いトレーニングであったという感想が共有された。

#### 第4 終わりに

今回の研修は、双方向のやり取りが活発で、質問が絶えず、バングラデシュの方々の熱量も高く、とても充実した研修であった。当職自身としても、稲葉先生の講義やバングラデシュの方々の質問等から多くの学びを得ることができ、とても勉強になった。

バングラデシュにおいては、調停制度が着実に普及しているようであり、例えば、64県の各県に1名ずつ配置されるべき法律扶助官（Legal Aid Officer）が、2～3年前までは、64県中半分の県にも満たなかったものが、現在は、ほぼ全ての県に配置されているようである。調停のための部屋が整備されていない<sup>3</sup>等の課題はあるようであるが、インフラについても徐々に改善されていくことが期待される。

国際協力部としても、バングラデシュの調停がより良いものになるよう、できる限りの支援をしていきたい。



【本研修の様子】

<sup>3</sup> 人の出入りが自由な部屋において、ほとんどプライバシーのない状態で、調停が行われていることもあるという。